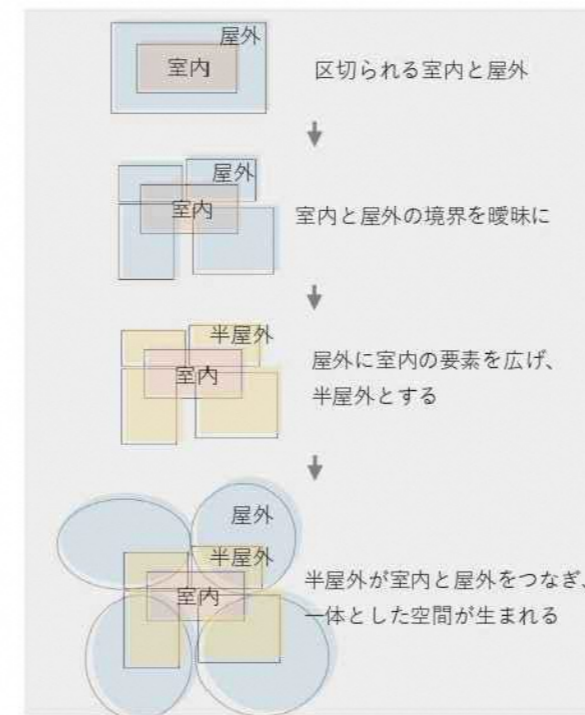
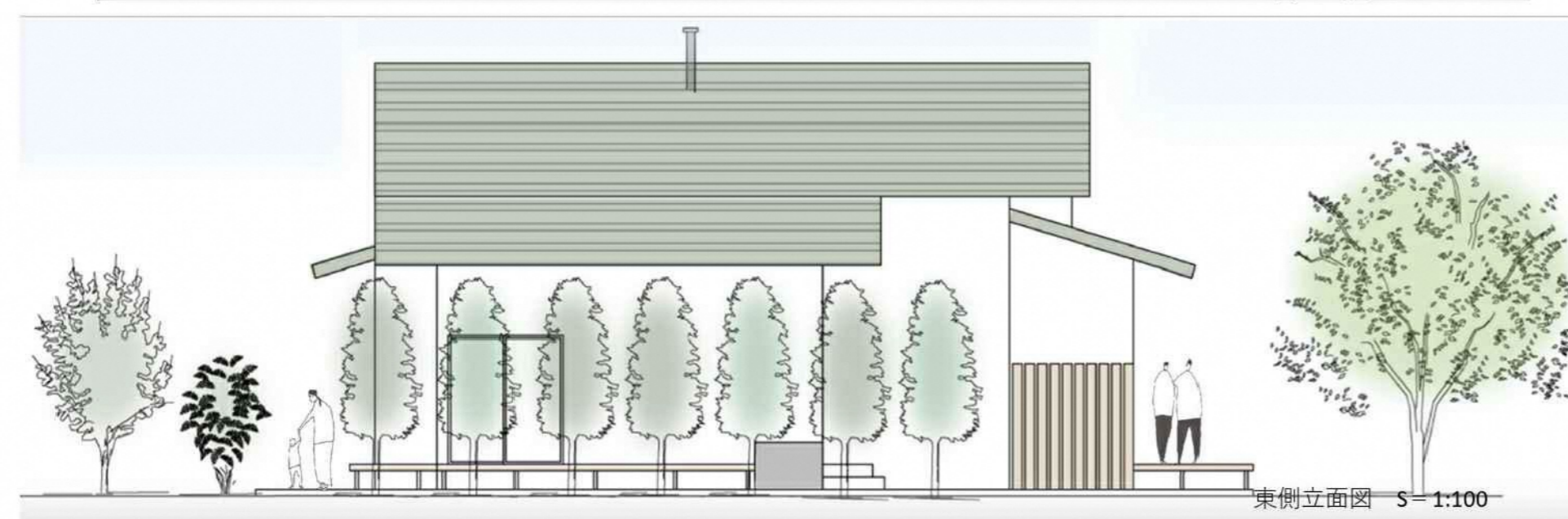
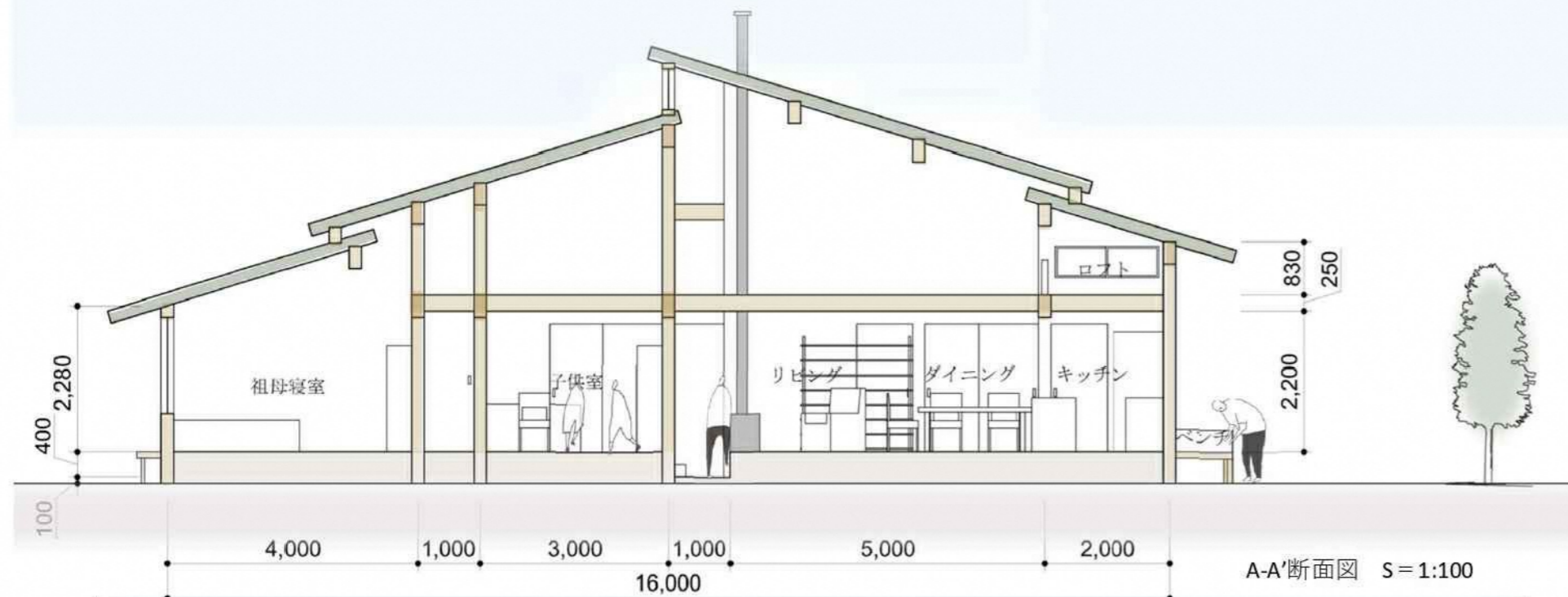


自然時計で暮らす家



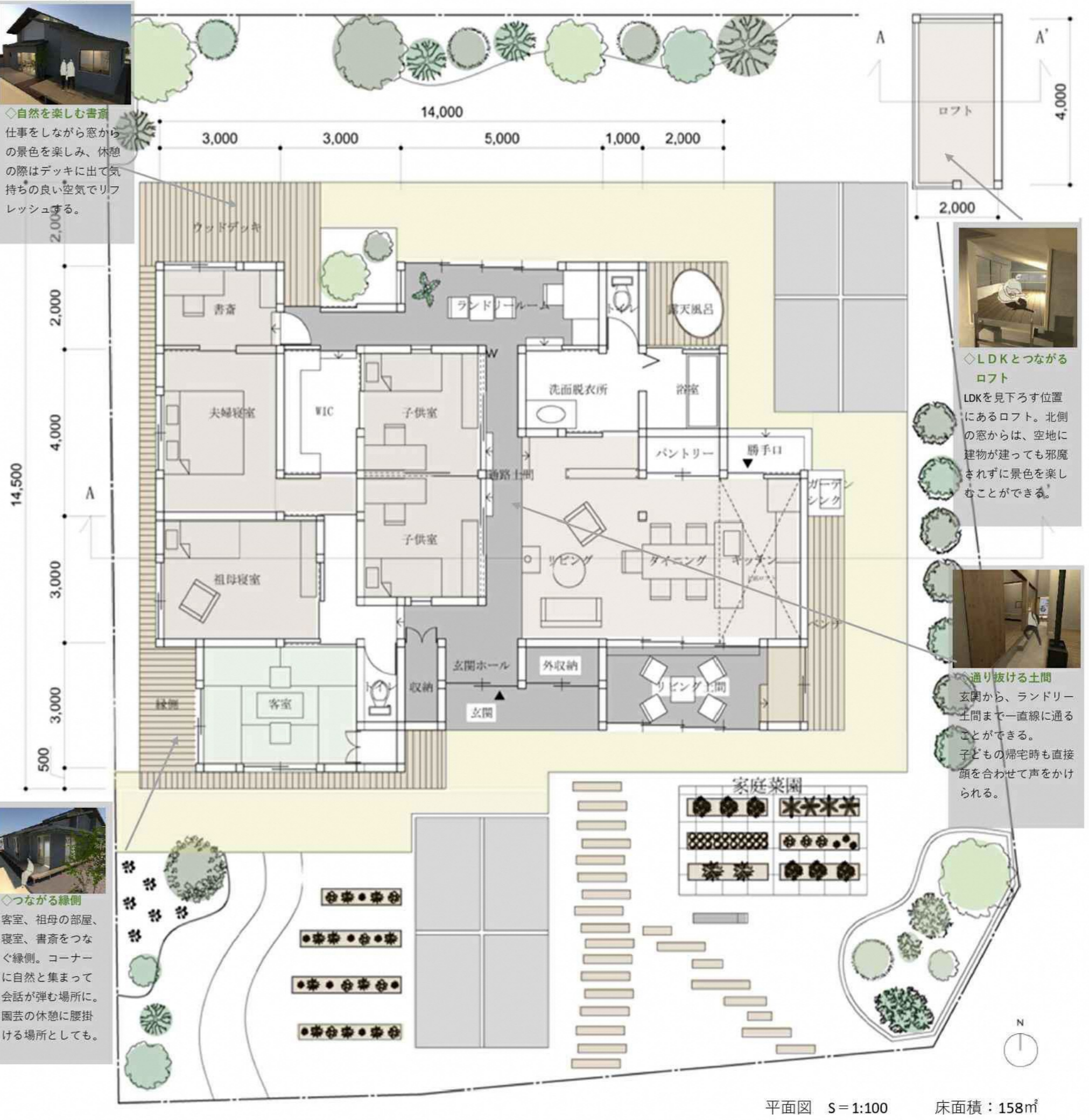
自然と共に暮らすとは、
四季の植物や生き物、太陽の動きを感じ、
その変化と呼応しながら過ごすことだと考える。
その実現のため、多様な自然 (= 屋外)
を内に取り込むことを目指した。
室内と屋外を半屋外空間で繋ぐことで
内外の境界を曖昧にし、自然を内へと導く。
また、室内→半屋外→屋外のグラデーションが
部分的に重なり合うことで
各領域を一体化・独立化できる。
家族は季節や用途、生活に応じた空間選択ができる。
自然を時間軸として
まるで自然が時計のように暮らしに溶け込む家。



◇広々ランドリー空間
洗濯、手芸、読書、食事など、マルチに使うことができる空間。子供部屋と小窓を通してつながる。



◇LDKと土間空間
土間空間を開放して、BBQや野菜の収穫を楽しむ。自由な場所に腰掛けることができる。



◇自然を楽しむ書斎
仕事をしながら窓からの景色を楽しみ、休憩の際はデッキに出て気持ちの良い空気でリフレッシュする。

◇LDKとつながるロフト
LDKを見下ろす位置にあるロフト。北側の窓からは、空地に建物が建っても邪魔されずに景色を楽しむことができる。

◇通り抜ける土間
玄関から、ランドリー土間で一直線に通ることができる。子どもの帰宅時も直接顔を合わせて声をかけられる。

◇つながる緑側
客室、祖母の部屋、寝室、書斎をつなぐ緑側。コーナーに自然が集まって会話が弾む場所に。園芸の休憩に腰掛ける場所としても。

平面図 S=1:100 床面積：158㎡